文京区保育ビジョン策定検討委員会委員委嘱式 次第

平成 18 年 9 月 15 日(金) 18 時 30 分~ 於:シビックセンター2101・2102 会議室

- 1. 開会あいさつ
- 2. 委員委嘱

第1回 文京区保育ビジョン策定検討委員会 次第

平成 18 年 9 月 15 日(金) 19 時~21 時 於:シビックセンター2101・2102 会議室

- 1. 開会あいさつ
- 2. 策定検討委員会会長・副会長の選出について【資料1】
- 3. 策定検討委員会会長への検討依頼 【資料2】
- 4. 委員紹介【資料3】
- 5. フリーディスカッション
- 6. 今後のスケジュール並びに運営について【資料4】
- 7. その他

- (1)「文の京」の明日を創る 文京区基本構想
- (2)文京区基本構想実施計画(平成17年度~平成19年度)
- (3)「文の京」ハートフルプラン文京区地域福祉計画(平成18年度~平成20年度)
- (4)「文の京」ハートフルプラン文京区地域福祉計画 子育て支援計画 (平成 17 年度~平成 21 年度)
- (5)文京区保育ビジョン策定検討委員会設置要綱【資料1】
- (6)文京区保育ビジョン策定に向けた検討課題について【資料2】
- (7)文京区保育ビジョン策定検討委員会委員名簿【資料3】
- (8)文京区保育ビジョン策定検討委員会スケジュール案【資料4】
- (9)文京区保育ビジョン策定検討委員会資料【資料5】

文京区保育ビジョン策定検討委員会設置要綱

18 文男保第 233 号平成 18 年 5 月 29 日区長決定

(設置)

第1条 文京区の保育行政全般に係る指針となる文京区保育ビジョン(以下「保育ビジョン」という。)に規定する内容を検討するため、文京区保育ビジョン策定検討委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、区長の依頼を受け、保育ビジョンに規定すべき内容について検討し、 報告する。

(委員)

第3条 委員会は、次に掲げる者のうちから区長が委嘱又は任命する委員20人以内をもって組織する。

_		
(1)	文京区町会連合会の構成員	1人
(2)	文京区女性団体連合会の構成員	1人
(3)	文京区民生・児童委員協議会の構成員	1人
(4)	文京区青少年対策地区委員会連絡会の構成員	1人
(5)	文京区立保育園在園児の保護者	5人
(6)	文京区内の私立保育園の設置者又は管理者	1人
(7)	文京区内の認証保育園の設置者又は管理者	1人
(8)	公募委員	4 人
(9)	学識経験者	2人
(10)	区職員	3人

2 前項第5号に規定する委員は、別に定めるところにより募集する。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、委嘱又は任命した日から平成19年3月末日までとする。 (欠員)

第5条 委員に欠員が生じたときは、これを補充しない。

(会長及び副会長)

- 第6条 委員会に会長を置き、学識経験者の中から委員の互選により選任する。
- 2 会長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 3 委員会に副会長を1人置き、委員のうちから会長が指名する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。 (会議)
- 第7条 委員会は、会長が招集する。
- 2 委員会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

(幹事)

- 第8条 委員会に幹事を置く。
- 2 幹事は、区職員のうちから区長が指名する。
- 3 幹事は、委員会に出席するものとする。

(委員以外の出席)

第9条 会長は、必要があると認めたときは、委員以外の者に対し委員会への出席を求め、 その意見を聴くことができる。

(会議の公開)

第10条 委員会は、公開とする。ただし、委員会の決定により、非公開とすることができる。

(庶務)

第11条 委員会の庶務は、男女協働子育て支援部保育課において処理する。

(委任)

第12条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、男女協働子育て支援部長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成18年5月29日から施行する。

文京区保育ビジョン策定に向けた検討課題について

(検討依頼にあたっての趣旨説明)

文京区は、平成13年7月に「文の京」の明日を創る文京区基本構想を策定するとともに、それに基づく基本構想実施計画や分野別の計画の中で、子どもと子育てに関するさまざまな施策を推進してきました。

しかし、核家族化の進行や地域コミュニティの希薄化、あるいは就労環境の変化などにより、子育てに不安や負担感を持つ親が増加しています。また、子どもたちにとっても、子ども同士や異年齢との交流、社会性を身につける機会が減少し、社会の一員として育ちにくい環境となっています。加えて、文京区でも児童虐待の問題も発生するなど、特に、学齢期前までの子どもたちの育ちや親の子育てを取り巻く環境は厳しくなってきています。

一方、国においては、少子化の流れを変えるため、平成 15 年 7 月「次世代育成支援対策推進法」及び地域における子育て支援の強化をはかるための「児童福祉法の一部を改正する法律」を制定し、地方公共団体および事業主が、次世代の育成支援対策を計画的に取り組むこととしています。

また、文京区は平成17年4月から、さまざまな人たちや団体が対等の関係で協力 し合いながら地域社会の課題を解決することを自治の理念とする「文の京」自治基本 条例を施行し、協働・協治による自治を進めています。

こうした中にあっては、これまで以上に、子どもを生み育てることを社会がもっと 評価し、次代を担う子どもたちや親の子育てを社会全体で支援することを速やかに、 そして、強力に推進していかなければなりません。

そのためには、親はもとより、地域・事業者・行政を含めた地域社会全体で、子どもたちの育ちや親の子育てしやすい環境を整えていくことが重要です。

そこで、あらためて、今、これからの文京区の保育の目指すべき方向性を明確にし、 文京区のさまざまな人たちや団体および区がその方向性をともに確認しあいながら 主体的に活動するために、文京区保育ビジョンを策定することといたしました。

したがって、今回策定いたします保育ビジョンでは、学齢期前までの子どもたちの育ちや親の子育てを対象領域とした次の課題に対して、文京区における取り組みを明らかにしたいと思います。

まず、第一に、子どもの育ちを見通した保育の充実であります。子どもの成長は連綿と続いていくものです。一方、さまざまな施策を実施するうえで、対象となる年齢が設定されていることも事実です。乳幼児期は、他者に対する基本的信頼感を形成する大切な時期であり、3歳以降の子どもは、社会性やコミュニケーション能力を身につける時期であります。そこで、子どもの育ちを視野に入れ、従来の「福祉」か「教

育」かという施策の枠組みを超え、学齢期前までの子どもに対して、どのような保育 を実施していくかが重要になっていると考えます。

第二に、親の子育てを支援することであります。現在、核家族化の進行、就労環境の変化、近隣関係の希薄化などを背景に、家庭や地域のおける子育て力の低下は著しく、子育ての負担感が大きくなっているといわれております。そこで、子どもの幸せを第一に考え、子どもを育成する家庭の子育て力が高まるよう、親子の絆を深め、親の子育て力を高める支援を行うことにより、子育てをする人が子育てに伴う喜びを実感できるようにしていきたいと考えております。

第三に、就労支援についてです。出産後も就業を継続したい、あるいは、速やかに 再就職したいと考える女性が多くなっています。しかし、職場環境や保育サービスの 状況により、こうしたニーズに十分対応できない状況となっています。また、就労環 境の変化に伴い、保育ニーズも多様化してきています。こうしたニーズに柔軟に対応 するとともに、子どもの育ちに十分配慮しながら必要なサービスを実施することが求 められていると思われます。

第四に、保育所の果たす役割についてです。長い間、子育ては近親者や地域の支援を受けながら行われてきました。しかし、こうした支援を得ることが期待できない状況が広がってきています。一方、保育所は、子育てについて高度な専門的なノウハウを有しています。そこで、引き続き保育が必要な子どもに対するサービスを充実するとともに、今後は、地域における子育て拠点としての役割を果たすことが求められてくると考えております。

以上4点に留意して、私の意のあるところをお汲み取りいただき、本策定検討委員会におきましては、文京区の保育の将来像を明確にした、文京区保育ビジョンについて、十分ご審議され、ご報告くださいますようお願い申し上げます。

今後、この保育ビジョンに基づき、私は、家庭から地域へ子育ての輪を広げ、家族の笑顔があふれるまちづくりのためにさまざまな施策を実施してまいる所存であります。

文京区保育ビジョン策定検討委員会 委員名簿

区分	職名または推薦団体	氏名(荷	放称略)
学識経験者	東京大学大学院教授	汐 見	稔 幸
"	ジャーナリスト	萩原	久 美 子
団体推薦	文京区民生委員・児童委員協議会	佐々木	陽 穂
"	文京区女性団体連絡会	大 川	米 子
"	文京区町会連合会	小 林	信男
"	文京区青少年対策地区委員会	深谷	純 子
"	区内私立保育園関係者(たんぽぽ保育園園長)	菅 原	良 次
"	区内認証保育所関係者(なかよしの家保育園理事)	飯田	恭
"	文京区認可保育園父母の会連絡会	浦中	祥 子
"	n .	高 橋	修 平
"	n .	高 橋	万由美
"	n .	武 田	克 明
"	n .	久 武	昌人
公募委員		紀野	美重子
"		藤田	くる美
"		安江	とも子
"		小 林	大 作
区職員	男女協働子育て支援部長	大 角	保 廣
11	しおみ保育園園長	根岸	かをる
"	水道保育園園長	吉田	シズ子
幹事	男女協働子育て支援部保育課長	久 住	智治
11	男女協働子育て支援部児童青少年課長	畑山	二男

文京区保育ビジョン策定検討委員会 スケジュール (案)

日 程	実	施 内 容
平成 18 年		
9月15日	委員委嘱	
	第1回委員会 開催	・顔合わせ フリーディスカッション
		・運営方法と今後のスケジュールの確認
10月4日	第2回委員会 開催	・保育ビジョンに盛り込むべき内容の検討
		と整理
		・「保護者等への調査」について
10 月下旬	「保護者等への調査」実施	
10月24日	第3回委員会 開催	・保育ビジョンに盛り込むべき内容の検討
		と整理
11 月中旬	第4回委員会 開催	・「中間のまとめ」に向けた内容の整理
11 月下旬	「保護者等への調査」結果集計	
	第5回委員会 開催	・「中間のまとめ」作成
		(区報原稿の作成)
12月20日	経過公表・パブリックコメント	・「中間のまとめ」について
		・区報特集号、区ホームページにより審議
		経過と「中間のまとめ」の周知
平成 19 年	第6回委員会 開催	・「中間のまとめ」に対する区民意見の紹
2月上旬		介と検討
		・報告取りまとめ
2月下旬	庁議報告	報告(案)について
3月上旬	議会報告	報告(案)について
3月中旬	第7回委員会 開催	・報告書提出
3月下旬	保育ビジョン策定	

文京区保育ビジョン策定検討委員会 資 料

目 次

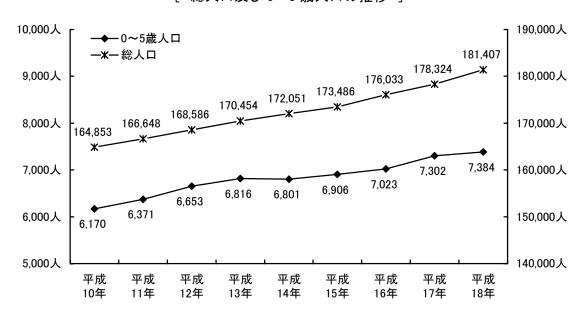
1.	総人口と就学前人口	1
2.	出生数と合計特殊出生率	4
3.	住まいの状況	5
4.	就学前児童の保育状況	6
	保育施設等の整備状況	
	1)保育施設の整備状況	
(2	2)幼稚園の整備状況	9
6.	子育て支援施設等の状況	10
7.	個別の支援を必要とする家庭の状況	14
(-	1)ひとり親家庭の状況	.14
(2	2) 障害児の状況	.15
(3	3)子どもの虐待の状況	.16

平成 18 年 9 月 文 京 区

1. 総人口と就学前人口

- ・ 文京区の総人口は、平成 10 年を境に翌年から増加に転じ、以降、増加し続けている。
- ・これに伴い0~5歳の就学前人口も増加傾向にある。
- ・ 人口に占める0~5歳人口の割合は都内で上から14番目、23区平均を下回っている。

[総人口及び0~5歳人口の推移]



単位:人

	平成 10 年	平成 11 年	平成 12 年	平成 13 年	平成 14 年	平成 15 年	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年
0 歳	998	1,069	1,112	1,126	1,122	1,096	1,130	1,215	1,174
1 歳	1,000	1,043	1,111	1,170	1,142	1,152	1,128	1,214	1,251
2 歳	1,016	1,044	1,048	1,136	1,148	1,154	1,174	1,152	1,246
3 歳	1,061	1,082	1,083	1,103	1,158	1,176	1,182	1,224	1,188
4 歳	994	1,106	1,147	1,099	1,135	1,167	1,210	1,255	1,238
5 歳	1,101	1,027	1,152	1,182	1,096	1,161	1,199	1,242	1,287
合 計	6,170	6,371	6,653	6,816	6,801	6,906	7,023	7,302	7,384
対前年増減	1	201	282	163	-15	105	117	279	82
総人口	164,853	166,648	168,586	170,454	172,051	173,486	176,033	178,324	181,407
0~5歳人口 の対人口比	3.74%	3.82%	3.95%	4.00%	3.95%	3.98%	3.99%	4.09%	4.07%

資料:住民基本台帳(各年4月1日現在)

[0~5歳人口の対人口比の23区比較]

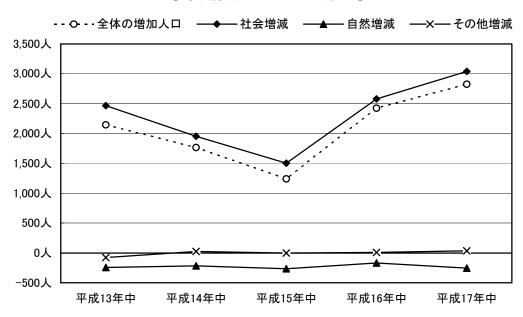
	自治体名	比率
1 位	江戸川区	6.26%
2 位	練馬区	5.16%
3 位	足立区	5.16%
4 位	江東区	5.11%
5 位	葛飾区	5.09%
6 位	大田区	4.74%
7 位	板橋区	4.70%
8 位	中央区	4.54%
9 位	荒川区	4.53%
10 位	墨田区	4.53%
11 位	港区	4.42%
12 位	世田谷区	4.40%
13 位	品川区	4.21%

	自治体名	比率			
14 位	文京区	4.10%			
15 位	北区	3.99%			
16 位	目黒区	3.99%			
17 位	千代区	3.95%			
18 位	杉並区	3.82%			
19 位	台東区	3.82%			
20 位	渋谷区	3.74%			
21 位	中野区	3.62%			
22 位	新宿区	3.59%			
23 位	23 位 豊島区				
東京	東京 23 区平均				
東京	京都平均	4.81%			

資料:東京都総務局「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」(平成18年1月現在)

- ・近年の人口の増加は、都心回帰により、転入が転出を上回ったことによる社会増に支えられている。
- 年齢階層別にみると、25~44歳が増加していることがわかる。

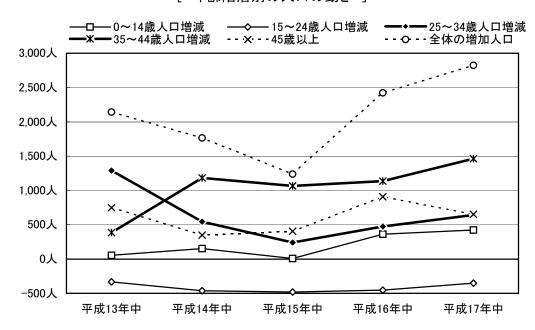
[変動要因別の人口の動き]



資料: 文京の統計

※「社会増減」は転入と転出の差、「自然増減」は出生と死亡の差、「その他増減」は外国人の増減

[年齢階層別の人口の動き]

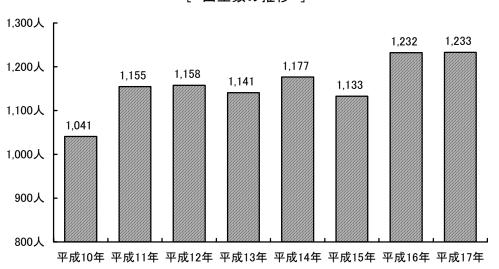


資料:住民基本台帳人口

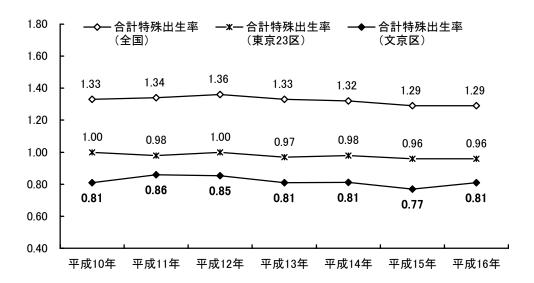
2. 出生数と合計特殊出生率

・一人の女性が生涯に生む平均子ども数を表す合計特殊出生率は、平成 16 年で 0.81 と 1.00 を下回り、23 区平均と比べても低い状況にある。

[出生数の推移]



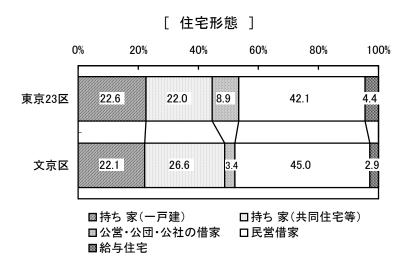
[合計特殊出生率の推移]

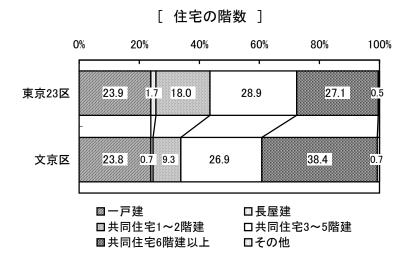


資料:文京区及び東京23区:東京都福祉保健局「人口動態統計年報」 全国:厚生労働省大臣官房統計情報部「人口動態統計」

3. 住まいの状況

- ・ 文京区民が住んでいる住宅の 4 割強は、民間の借家。
- ・ 4 割弱が 6 階建以上の高層住宅に居住している。



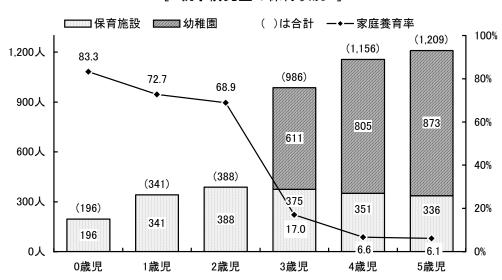


資料:総務省統計局「平成 15 年 住宅·土地統計調査」

4. 就学前児童の保育状況

- 歳児の8割台、1・2歳児の7割前後は、家庭で養育されている。
- ・ 0歳児の 2割弱、1歳児以上の 3割前後が、日中を保育園等の保育施設で過ごしている。

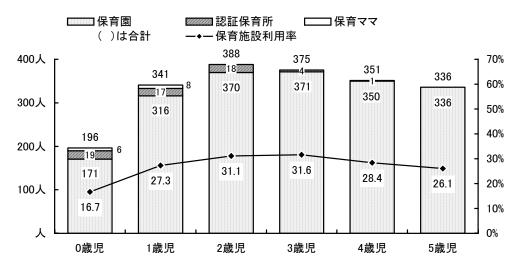
[就学前児童の保育状況]



- ※平成18年5月1日現在
- ※文京区民の状況(管外委託児・区外への通園児を含み、管外受託児・区外からの通園児を除く) 但し、国立幼稚園通園児数は含まれていない
- ※保育施設は、保育園、認証保育所、保育ママの合計
- ※家庭養育率=年齢別保育サービス・幼稚園未利用者数/年齢別人口

(平成18年4月1日現在住民基本台帳人口)

「 保育施設等の利用状況]



- ※平成18年5月1日現在
- ※保育園は管外委託児を含み、管外受託児を除く人数
- ※保育施設利用率=年齢別保育施設利用者数/年齢別人口

(平成18年4月1日現在住民基本台帳人口)

5. 保育施設等の整備状況

(1)保育施設の整備状況

- ・ 文京区の保育園については、千代田区、中央区、港区と並び、公立保育園の割合が高いことが特徴。
- ・ 平成 18 年に保育園と幼稚園が一体となった施設(柳町こどもの森)が開設された。待機児 童数は約50人となっている。
- ・ 保育園のほか、認証保育所、保育ママなどで、就学前児童の保育が実施されている。

[公立保育園整備状況]

		0 歳	1歳	2 歳	3 歳	4•5 歳	合 計	施設数
平成 17 年	定員数	144人	265人	316人	343人	616人	1,684人	19園
	園児数	144人	263人	307人	346人	636人	1,696人	_
平成 18 年	定員数	144人	273人	326人	356人	622人	1,721人	20園
	園児数	133人	271人	322人	348人	642人	1,716人	_

※各年5月1日現在

[私立保育園整備状況]

		0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4•5歳	合 計	施設数
平成 17 年	定員数	42人	44人	47人	18人	36人	187人	3園
	園児数	46人	46人	46人	23人	44人	205人	_
平成 18 年	定員数	42人	44人	47人	18人	36人	187人	3園
	園児数	38人	45人	48人	23人	44人	198人	_

※各年5月1日現在

[保育園整備率]

		定員数		八六四六国	
	公立保育園	私立保育園	合 計	公立保育園 定員の割合	
文 京 区	1,684人	187人	1,871人	25.9%	90.0%
東京 23 区	東京 23 区 77,060人		103,310人	27.3%	74.6%

資料:第38回文京の統計(平成17年5月1日現在)

※整備率=定員数/0~5歳人口(平成17年1月1日現在住民基本台帳人口)

[保育園待機児童の状況]

		0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4•5 歳	合 計
平成 17 年	待機児数	15人	19人	3人	12人	19人	68人
	待機率	10.4%	7.2%	1.0%	3.5%	3.0%	4.0%
亚式 10 年	待機児数	7人	33人	4人	4人	5人	53人
平成 18 年	待機率	5.3%	12.2%	1.2%	1.1%	0.8%	3.1%

※各年5月1日現在

※認証保育所・家庭福祉員(保育ママ)等で保育されている場合は、待機児童に含まれない

※待機率=待機児数/園児数(各年5月1日現在)

[認証保育所整備状況]

		0 歳	1歳	2 歳	3 歳	4•5 歳	合 計	施設数
平成 17 年	定員数	22 人	23 人	9 人	8 人	2 人	64 人	3園
	園児数	10人	20人	8人	3人	0人	41人	_
平成 18 年	定員数	25人	29人	12人	11人	2人	79人	3園
	園児数	19人	17人	18人	4人	1人	59人	_

※各年5月1日現在

[保育ママの状況]

		0 歳	1歳	2 歳	合 計	保育ママ数
平成 17 年	定員数	-	_	_	30人	10人
平成 17 年	受託児数	14人	2人	3人	19人	_
平成 18 年	定員数	_	_	_	27人	9人
平成 18 平	受託児数	6人	8人	0人	14人	_

※各年5月1日現在

(2)幼稚園の整備状況

・幼稚園は区内に26か所。

[区立幼稚園整備状況]

		3 歳	4 歳	5 歳	合 計	施設数
平成 17 年	定員数	90 人	410 人	410 人	910 人	10 園
平成 17 年	園児数	87人	266人	333人	686人	_
亚式 10 左	定員数	90人	422人	422人	934人	10 園
平成 18 年	園児数	85人	270人	312人	667人	_

[※]各年5月1日現在

[私立幼稚園整備状況]

		3 歳	4 歳	5 歳	合 計	施設数
亚战 17 年	定員数	660人	785人	790人	2,245人	16 園
平成 17 年	園児数	583人	560人	583人	1,726人	_
平成 18 年	定員数	660人	785人	790人	2,245人	16 園
平成 18 年	園児数	580人	596人	568人	1,744人	_

[※]各年5月1日現在

[※]園児数は、区内にある私立幼稚園の在園児数(区外からの通園児を含み、区外への通園児は含んでいない)

6. 子育て支援施設等の状況

一時保育事業、病時保育事業、ファミリー・サポート・センター事業、子ども家庭支援センターなどの子育て支援施設(サービス)の利用は伸びている。

[緊急一時保育]

保護者又は家族が病気、出産等により緊急に保育に困る家族に対し、生後4ヶ月から小学校に就学前までの児童を「緊急一時保育所」で一時的に預かり保育する。昭和53年10月から保育員制度により開始(平成18年4月1日からは「緊急一時保育所」を3園で実施)。

①さしがや保育園(白山 2-32-6) 定員 3 人 ②しおみ保育園 (千駄木 2-27-8) 定員 3 人 ③本駒込南保育園(本駒込 3-11-14) 定員 3 人

受 託	平成 1	3 年度	平成 1	4 年度	平成 1	5 年度	平成 1	6 年度	平成 1	7 年度
理由	受託児	日数								
出産	13人	59日	16人	122日	26人	205日	28人	167日	24人	195日
病 気	78人	390日	83人	501日	97人	503日	人08	513日	86人	365日
看 護	35人	128日	27人	224日	48人	261日	15人	98日	35人	158日
待 機	40人	581日	11人	149日	3人	44日	8人	124日	7人	99日
その他	121人	546日	103人	345日	120人	390日	119人	344日	192人	460日
合 計	287人	1,704日	240人	1,341日	294人	1,403日	250人	1,246日	344人	1,277日

[一時保育事業]

(1)一時預かり保育事業(キッズルーム)

・場 所:春日1-16-21(文京シビックセンター3階)

・開所日時:月曜~日曜の午前9時~午後10時(年末年始及び臨時休館日を除く)

・定 員:10人

・保育対象:満1歳から小学校就学前

・利用数:1日1階(3時間以内)、月10回まで ・利用要件:保護者が次のいずれかに該当する場合

①学校等の行事参加 ②地域・社会・文化活動参加 ③通院、看護、休養及び冠婚葬祭

	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
登録者数	345人	661人	1,048人
延利用者数	572人	1,179人	1,900人

※平成15年度は10月1日から3月31日までの実績

(2)目白台一時保育所・・・事業開始 平成18年5月

・場 所:目白台 3-18-7(目白台総合センター1階)

・開所日時:月曜~土曜の午前8時~午後6時(国民の休日及び年末年始除く)

・定 員:12人

・保育対象:満1歳から小学校就学前

・利用数:月10回まで

[病後児保育事業]

児童が病気の回復期にあり集団保育が困難な時期に、保護者が仕事等で保育が出来ない場合に医療機関で一時的に保育を行う(平成16年12月10日より開始)。

・場所:保坂こどもクリニック(保坂病児保育ルーム) 白山 5-27-12

·定員:4人

	平成 16 年度	平成 17 年度
利用者数	143人	679人
開設日数	72日	243日

※平成16年度は、12月10日から3月31日までの実績

[ファミリー・サポート・センター事業]

緊急や私用の場合等、臨時的・単発的な保育需要に応えるため、子育ての援助を行う提供会員と援助を受ける依頼会員とからなる会員組織により、地域の中で子育ての相互援助活動を行う。

	平成 13 年度	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
依頼会員数	410人	635人	864人	1,073人	1,298人
提供会員数	108人	142人	149人	164人	175人
両方会員数	21人	38人	40人	49人	56人
総活動回数	2,748件	4,892件	5,478件	5,745件	6,667件

[ふれあいいきいきサロン(子育てサロン)]

地域住民の自主的な交流の場である「いきいきふれあいサロン」の活動の一つとして、子育て世代の方々による「子育てサロン」活動が行われている。

これらの活動に対し、社会福祉法人文京区社会福祉協議会が運営の支援や情報提供等を行っている。

団体名	活動場所	活動内容
子育てサロン	本駒込2丁目(霊樹院)	3歳までの親子の自由遊び、子育ての情報交換を する。
こばとくらぶ	湯島2丁目(御霊神社)	親子が自由に遊びながら、仲間づくりをする。
キッズクラブ21	本郷4丁目 (文京区民センター会議室)	親子のふれあいを遊びや学習の中から深め、共育 ちをしていく。また、仲間同士の交流を図る。
赤ちゃん倶楽部	大塚5丁目(音羽生涯学習館)	赤ちゃん親子の遊びのプログラム
ぬくぬく	関口3丁目 (東京カテドラル関ロ教会関口会館)	子育て中の親子に対し、お子さんには「エプロンシアター」による昔話。おかあさんには大人向けの「朗読の部屋」のお話を通じて、家族や親子の交流を深めていく。
ラッコの会	小石川2丁目(柳町幼稚園)	親子で体操,手芸,親子遊び,工作等

[子育てひろば]

保護者とお子さんが一緒に安心して遊びながら過ごすことのできる施設。子育て相談も行う。

•開放日:月曜日~金曜日

・開放時間:午前10時~午後3時

・場 所: ①子育てひろば西片(元文京区立西片幼稚園) 西片 1-8-15 ②子育てひろば汐見(元文京区立汐見幼稚園) 千駄木 2-19-23

		平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
	登録幼児数	515人	575人	579人	555人	625人
西片	延利用者数(幼児)	7,047人	7,858人	7,159人	6,162人	7,180人
	延利用者数(保護者)	6,097人	7,243人	6,683人	5,502人	6,061人
	登録幼児数	573人	596人	616人	577人	566人
汐見	延利用者数(幼児)	9,717人	10,040人	11,041人	8,894人	9,358人
	延利用者数(保護者)	8,779人	9,050人	9,746人	8,142人	8,624人

[子ども家庭支援センター…事業開始 平成15年10月]

場所:春日1-16-21 文京シビックセンター12階(「ぴよぴよひろば」は3階)

(1)総合相談事業

対象:区内在住の18歳未満の方とその保護者等

	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
一般相談延相談件数	241件	549件	555件
専門相談延相談件数	25件	42件	43件
児童虐待延相談件数	82件	130件	155件
合 計	266件	591件	598件

※専門相談:臨床心理士等による相談

(2)親子ひろば事業(ぴよぴよひろば)

区内在住の3歳未満の親子が楽しく遊びながら、他の親子との交流や情報交換を図る場。 利用時間:平日の午前10時から午後4時

	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
登録者数	533人	1,070人	1,435人
延利用者数	3,616人	9,748人	10,855人

(3)子育て支援講座

	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
開催回数	7回	13回	14回
延参加者数	151人	200人	201人

(4)親子ひろばの行事

	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
開催回数	-	7回	7回
延参加者数	_	62人	206人

※平成15年度は、いずれも10月1日から3月31日までの実績

7. 個別の支援を必要とする家庭の状況

(1)ひとり親家庭の状況

・ ひとり親家庭等の子どもを対象とする児童育成手当(育成手当)の平成 17 年度の受給者数は、平成 13 年度時点の約 1.5 倍に増加している。

[児童育成手当(区の制度)受給者数の推移]

	平成 13 年度	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
育成手当	811人	859人	1,142人	1,255人	1,213人
障害手当	53人	61人	50人	69人	73人

※各年年度末現在

【支給要件】

- ①育成手当:18歳に到達した年度の末日以前の児童で次のいずれかに該当する児童
- (ア) 父母が離婚した児童
- (イ) 父または母が死亡した児童
- (ウ) 父または母が生死不明である児童
- (エ) 父または母に1年以上遺棄されている児童
- (オ) 父または母が法令により1年以上拘禁されている児童
- (カ) 父または母が重度の障害を有する児童(身体障害者手帳1・2級程度)
- (キ) 婚姻によらないで生まれ、父から扶養されていない児童
- ②障害手当:20歳未満で、次の程度の障害のある児童
- (ア) 知的障害で「愛の手帳」1・2・3 度程度
- (イ) 身体障害で「身体障害者手帳」1・2級程度
- (ウ) 脳性麻痺または進行性筋萎縮症

(2)障害児の状況

・障害のある乳幼児に対しては、区立保育園・幼稚園での保育、心身障害者(児)福祉センターでの児童デイサービスを実施している。

[保育園・幼稚園における障害児受け入れ者数の推移]

区立保育園

	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年
1歳児	0人	1人	1人
2歳児	1人	0人	2人
3歳児	2人	3人	1人
4歳児	3人	3人	3人
5歳児	6人	5人	4人
合 計	12人	12人	11人

区立幼稚園

	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年
3歳児	1人	3人	1人
4歳児	12人	5人	12人
5歳児	11人	13人	7人
合 計	24人	21人	20人

※各年5月1日現在

[心身障害者(児)福祉センター 児童デイサービス事業利用者数の推移]

乳幼児:入退所状況

		平成 13 年度	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
年月	度当初在籍者数	20人	12人	14人	13人	15人
年	入所者	8人	11人	9人	8人	12人
度	延在籍者数	28人	23人	23人	21人	27人
内	退所者数	16人	9人	10人	6人	13人
年度	E 末在籍者	12人	14人	13人	15人	14人

乳幼児:年齢別延在籍者数

	平成 13 年度	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
0~3歳	16人	12人	5人	12人	15人
4~6歳	12人	11人	18人	9人	12人

※平成15年度から支援費制度に基づく児童デイサービスとして実施

(3)子どもの虐待の状況

- 子どもの虐待に関する相談者数は、年々増加する傾向にある。

[子ども家庭支援センターにおける児童虐待に関する相談者数の推移]

	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
0~3歳未満	0人	5人	3人
3~就学前児童	6人	7人	15人
小学生	4人	17人	19人
中学生	1人	3人	4人
高校生・その他	0人	3人	1人
合 計	11人	35人	42人

[※]単位実人数

[※]平成15年度は、10月1日から3月31日までの実績